

がん・生殖医療ネットワークの実際の運用

富山大学産婦人科 伊東雅美

Oncofertility Consortium Japan ミニワークショップ@香川
～香川県のがん・生殖医療と連携について考える～
2024年3月26日 18:00～20:00

※ 私の今回の発表に関連して、開示すべき利益相反状態はありません。

OCJpnについて

目的・活動

日本がん・生殖医療学会(JSFP)内に地域ネットワーク構築支援のため新規構築途上や運営に課題を抱えている地域の問題解決し、**NWの持続可能性と質的均てん化に繋げる**ための以下の諸活動(NW関連分)を実施。

#1 全国ネットワークの実態調査 (「～研究班の考え方」をもとにしたアンケート)

#2 全国ワークショップ (毎年1月)

全国NWの行政、がん診療の代表者、生殖医療の代表者がオンラインで課題や解決策をディスカッション

#3 課題のある地域での個別のワークショップ開催

(ミニワークショップ：2回程度/年)

#4 JSFPウェブサイト「地域連携」の維持更新 (各NW情報の共有)



がん治療と妊娠
地域医療連携

厚生労働科学研究補助金(がん対策推進総合研究事業)

「がん・生殖医療連携ネットワークの全国展開と

！・AYA世代がん患者に対する妊孕性温存の診療体制の均てん化にむけた

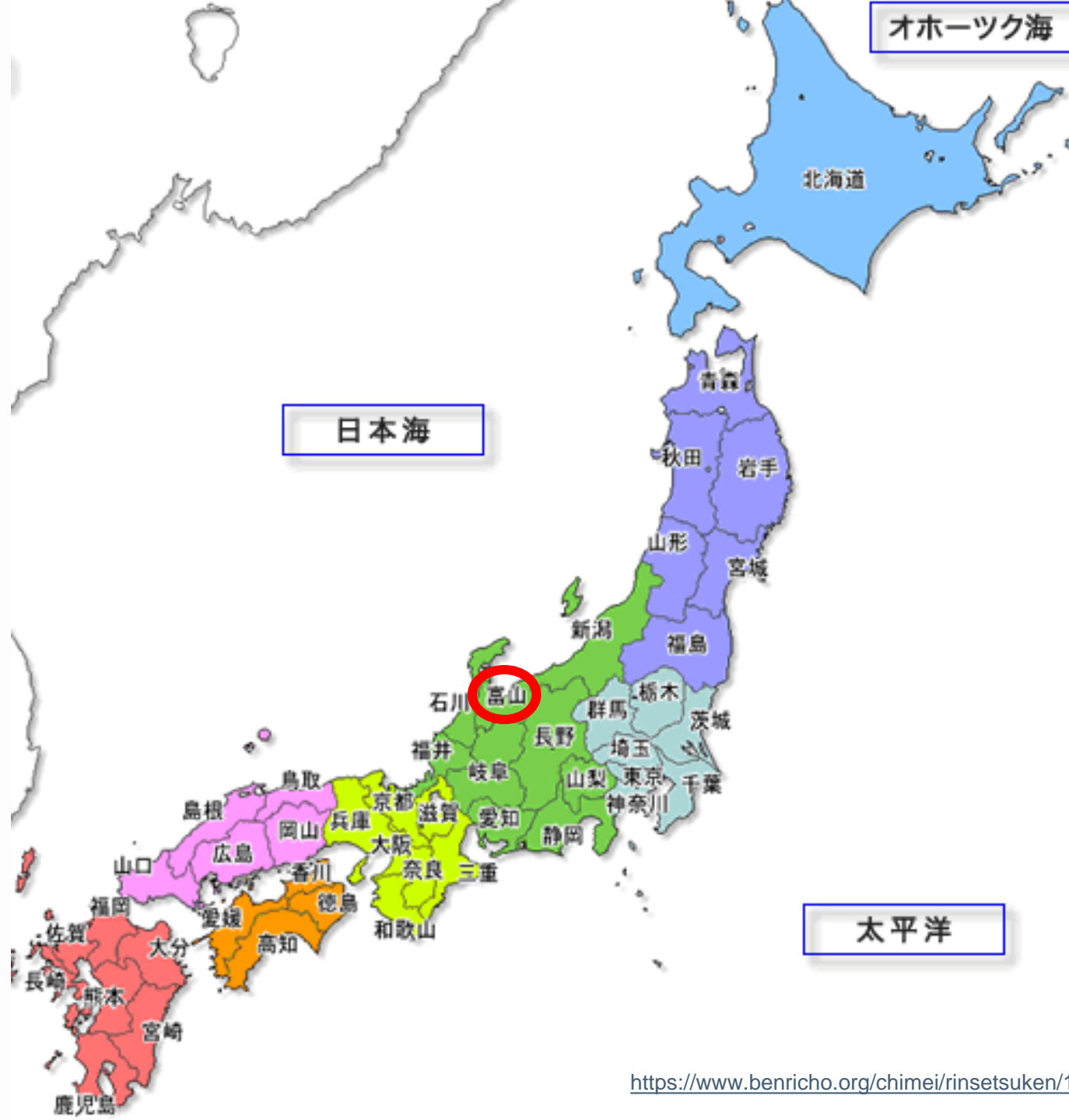
臨床研究—がん医療の充実を志向して」



作業名	頻度	備考	担当者	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
①NW担当窓口の全国調査しOCJのHPで最新情報提供/ ②秋～冬にかけNWの構成や機能に関し調査	年2回		事務局				①調査				①調査					
	年1回 秋～冬		分担								②NW構成や機能の調査・集計					
OCJ運営委員会			事務局	●			●		●		●		●			●
Webサイト改修 適宜webページの改修		定期的更新	分担					←								
厚生労働省への報告書作成	年1回		分担											→ 準備		
1回目ミニWS		ハイブリット	主幹 山形県				→ 準備		●							
2回目ミニWS		ハイブリット	主幹 〇〇県									→ 準備				●
第3回OCJpn 全国ワークショップ	年1回 1月26日	ZOOM	分担								← 準備			●		
JSFP学術集会 啓蒙活動	年1回		分担													●



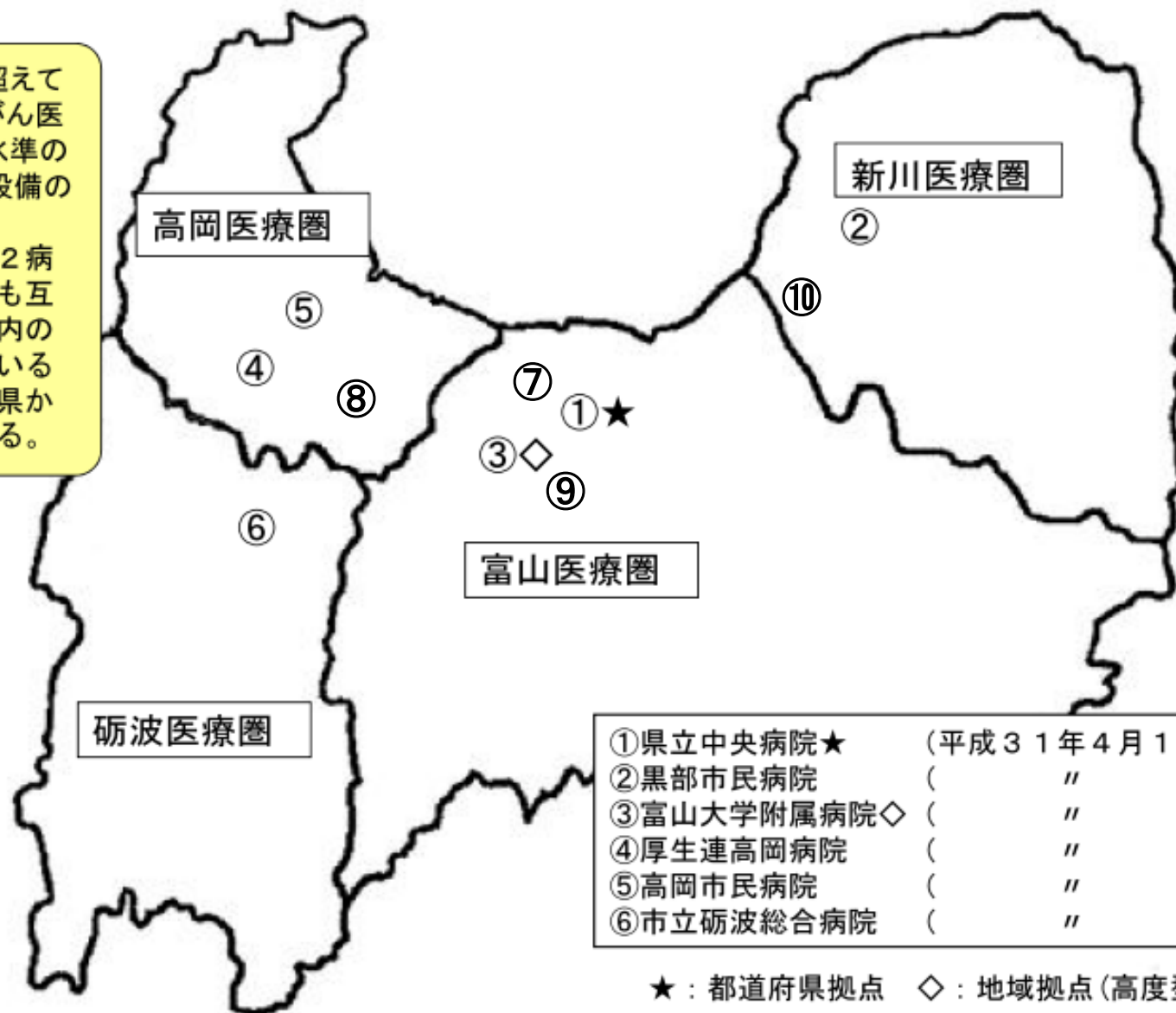
富山県について



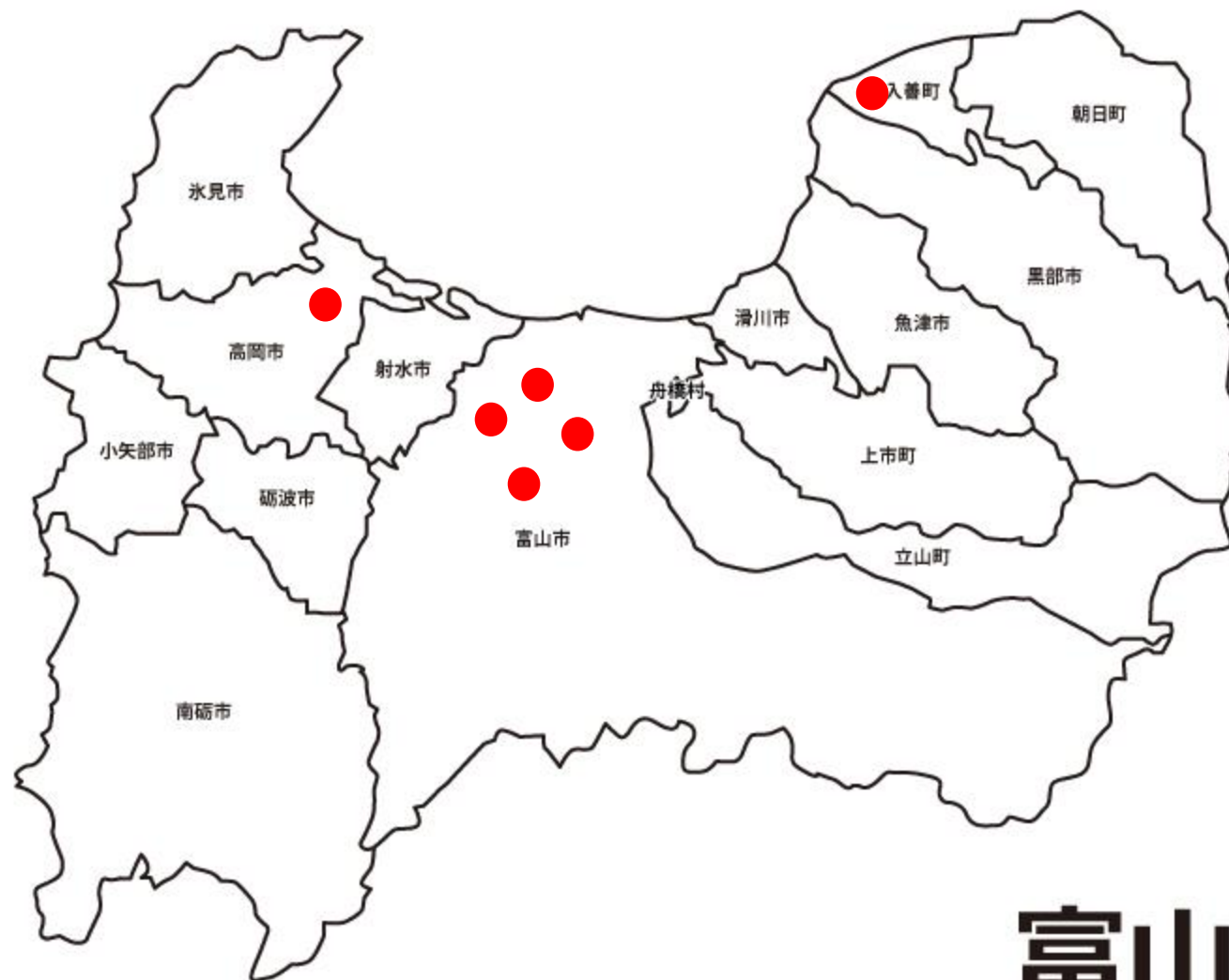
富山県 令和元年9月1日現在の医療圏の状況と指定状況

資料2

6つの拠点病院が圏域を超えて相互に連携し、県全体のがん医療の均てん化、がん医療水準の強化、人材育成及び診療設備の充実を図っている。
高岡医療圏では④と⑤の2病院が地域的にも機能的にも互いに補完しながら、圏域内のがん患者診療に対応しているほか、砺波医療圏や石川県からの患者も受け入れている。



日産婦ART登録施設



富山県





OCJpn ミニワークショップ富山
を行った経緯について

● ー 家族それぞれの状況 (2021年度の冬頃)

【本人】

性交渉歴なく、卵子採取のために経膈的な診察や処置(採卵)があることを知らずに温存施設を初診。



白血病患 春期女性
病院Aがん治療医→地域連携
→クリニックCへ紹介
(がん相談支援センターの介入はなさそう)

【父】

反対



・本人がそんなに嫌がっているならやらなくてよい。

【母】 揺らいでいる



富山県の現状

- 2022年4月 県がん診療連携協議会 小児AYA部会 新設
(富山県がん生殖ネットワークの母体。患者さんは助成金受給)
- がん診療施設と生殖医療施設が別

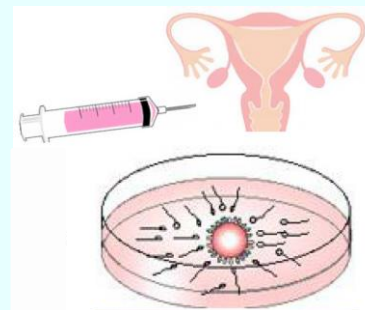


原疾患治療施設

富山大学附属病院

紹介

生殖医療施設



- 多職種(薬剤師、心理士等)による
実質的なAYAサポートチームはまだない

Oncofertility Consortium Japan

ミニワークショップ@富山

(富山県のがん・生殖医療ネットワークを考える会)

実行委員

Oncofertility Consortium Japan(OCJpn)運営委員会 委員長
岐阜大学医学部附属病院 産婦人科 教授 古井 辰郎

OCJpnミニワークショップ@富山実行委員

富山大学 産婦人科
富山大学附属病院看護部
富山大学 消化器・腫瘍・総合外科(乳腺科)
富山市民病院 産婦人科
富山県立中央病院 産婦人科
富山県立中央病院 泌尿器科
富山県 健康課がん対策推進班

伊東雅美
樋口麻衣子
金谷瑛美
田中智子
草開友理
島 崇
赤川真由子

Oncofertility Consortium Japan ミニワークショップ@富山

(富山県のがん・生殖医療ネットワークを考える会)

日時：2022年10月3日(月) 18時～20時
会場：富山大学附属病院
管理棟3階大会議室(中)
形式：ハイブリッド開催

*会場へはマスク着用でお越しください。

次第

1. テーマと目的の紹介
2. 代表挨拶
3. 妊孕性温存の実際
4. 症例検討
5. 意思決定支援について
6. 意見交換：医療連携(富山県の紹介フロー)・意思決定支援について
7. 情報提供・意思決定支援資材の紹介
8. 全体ディスカッション
9. 関係部門挨拶

妊孕性温存の実際

(富山大学産婦人科共催)

石川県 金沢たまごクリニック
上林大岳医師より、妊孕性温存療法の現況についてお話しいただきます。

症例検討

白血病の症例を通じて、富山県の患者紹介フロー・意思決定支援について検討します。

意思決定支援について

大阪国際がんセンター 多田雄真医師より、意思決定支援の定義と意義について、お話しいただきます。

●参加登録●

下記URL、またはQRコードより登録をお願いします。

<https://forms.gle/bxdVrbF3Rex3DUhZQ6>

登録締切：9月30日(金)15時



日本がん・生殖医療学会 OCJpn事務局 担当：築山

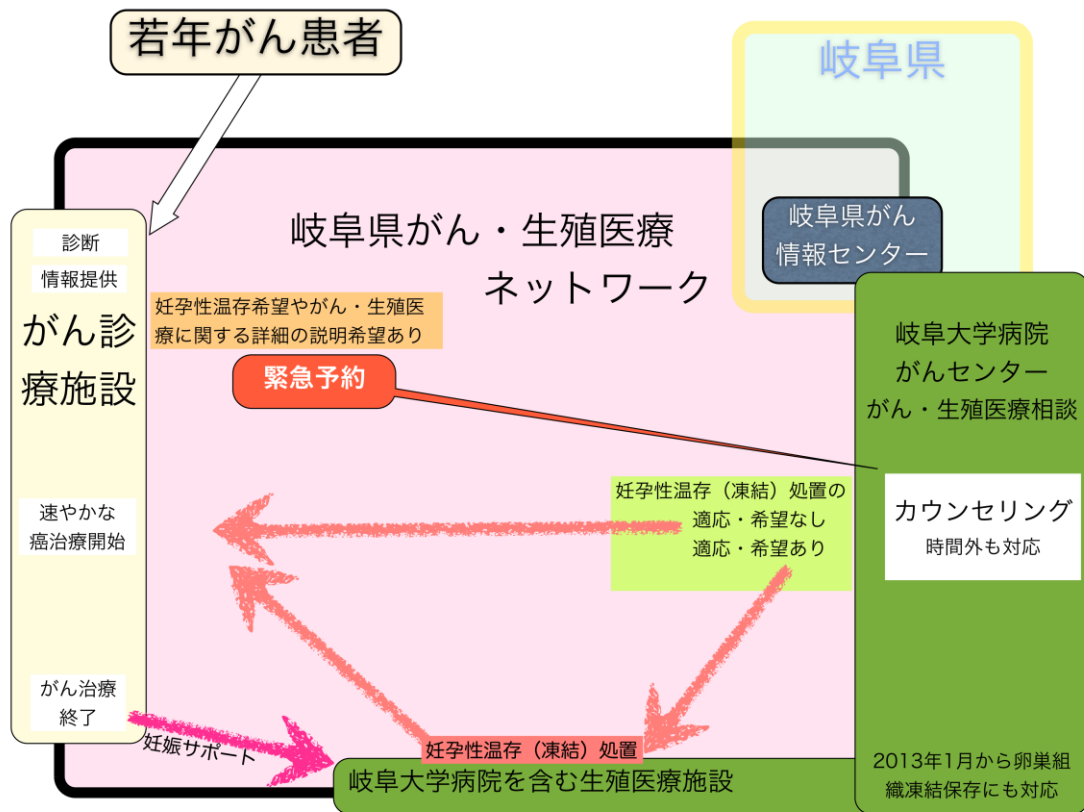
E-mail: ytsukiyama@j-sfp.org



がん・生殖医療提供体制の都道府県ごとの違い

1. 大都市型
 - ・多数のがん診療施設、生殖補助医療施設があり、それぞれが独自に複雑に連携している。
 - ・網羅的ネットワーク形成や**実態の把握**が困難
 - ・圏内全てのがん診療施設で充実しているとは言えない？
2. 基幹病院型
 - ・単一の施設を中心としたがん・生殖医療ネットワークを形成
 - ・**実態の把握、施策の実施**が比較的進めやすい
3. 生殖医療専門施設主導型
 - ・生殖医療専門施設ががん診療施設に働きかけ、がん・生殖医療ネットワークを形成
 - ・**実態を把握し、地域の特性に配慮した施策の実施が必要**
4. 混合型
 - ・2.と3.の混合
 - ・**実態を把握し、地域の特性に配慮した施策の実施が必要**
5. がん・生殖医療体制未整備
 - ・**実態の把握、近隣都府県によるサポート、施策の実施が必要**

参考 1つの例 基幹病院型
岐阜県がん・生殖医療ネットワーク(GPOFs)



GPOFsイメージ図

(<https://www.hosp.gifu-u.ac.jp/origin/cancer-center/dist/pdf/consultation/seisyokuiryo.pdf> 2022/9/11閲覧)

令和3年度版

生殖機能温存にかかる 治療費等の助成が受けられます

岐阜県では、将来子どもを産み育てることを望む小児・思春期・若年のがん患者さん等が、希望を持ってがん治療等に取り組んでいただくことができるよう、がん治療等の開始前に県が指定した病院において行う生殖機能温存治療に要した費用の一部を助成します。



生殖機能温存治療とは

生殖機能が低下し、若しくは失うおそれのあるがん治療等に際して、精子、卵子若しくは卵巣組織を採取し凍結保存するまでの一連の医療行為又は卵子を採取し受精させ、胚(受精卵)を凍結保存するまでの一連の医療行為をいいます。

助成の対象となる方

生殖機能温存治療を受けた方、又はその前に実施する意思決定支援を受けたが生殖機能温存治療に至らなかった方が対象となります。生殖機能温存治療と意思決定支援で要件等が異なります。

生殖機能温存治療に係る助成申請をする場合

- (1) 申請時点で岐阜県内に住所を有している方
- (2) 生殖機能温存治療の凍結保存時における年齢が43歳未満の方
- (3) 意思決定支援施設において、意思決定支援を受けた方
※原疾患の治療を開始する必要のあることその他のやむを得ない事情により意思決定支援を受けることが困難な場合は、意思決定支援を受けずに生殖機能温存治療を実施した方も対象となります。
- (4) 令和3年4月1日以降に指定医療機関において生殖機能温存治療を受けた方
- (5) がん治療等により、生殖機能が低下し、又は失うおそれがあるとがん治療等担当医師及び指定医療機関の生殖機能を専門とする医師により判断され、かつ、生命予後に与える影響が容認されると認められる方
※子宮摘出が必要な場合その他の妊娠できないことが想定される場合は対象となりません。
- (6) 生殖機能温存治療の治療期間を同じくして、岐阜県特定不妊治療費助成事業に基づく助成又は他の都道府県若しくは市町村が実施する特定不妊治療費助成事業により、助成金等の交付を受けていない方
- (7) 生殖機能温存治療について、他の法令等の規定により、他の都道府県又は市町村の負担による助成を受けていない方
- (8) 小児・AYA世代のがん患者等の妊娠性温存療法研究に参加できる方

意思決定支援に係る助成申請をする場合

- (1) 意思決定支援実施時点で岐阜県内に住所を有している方
- (2) 意思決定支援実施日における年齢が43歳未満の方
- (3) 令和3年4月1日以降に意思決定支援施設において、意思決定支援を受けた結果、生殖機能温存治療を受けるに至らなかった方
- (4) 意思決定支援について、他の法令等の規定により、他の都道府県又は市町村の負担による助成を受けていない方

(<https://www.pref.gifu.lg.jp/uploaded/attachment/273275.pdf> 2022/9/11閲覧)

参考 1つの例 基幹病院型

宮城県がん・生殖医療ネットワーク

- 生殖施設に直接依頼が来た場合は予約の段階でコーディネーター施設を経由するよう指示される。
 - がん生殖の患者さんは強制的に妊孕性の意思決定支援に回るようになっている。
- ✓ 検体保存施設の意向確認必要
✓ 意思決定支援はかなり迅速にやる必要がある。希望日にいつでも対応するような体制が必要

宮城県がん・生殖医療ネットワーク

HOME > 宮城県がん・生殖医療ネットワーク

宮城県がん・生殖医療ネットワーク

東北大学産婦人科TOP | サイトマップ

宮城県がん・生殖医療ネットワーク

TOPページ
がんと妊孕性の基本知識

患者の皆様へ
宮城県がん・生殖医療ネットワークの利用方法
料金について

医療関係者の皆様へ
宮城県がん・生殖医療ネットワーク利用の流れ
資料ダウンロード

HOME > 宮城県がん・生殖医療ネットワーク

宮城県がん・生殖医療ネットワーク

原疾患治療施設

生殖医療施設

患者さん

コーディネーター施設

東北大学病院
宮城県立がんセンター

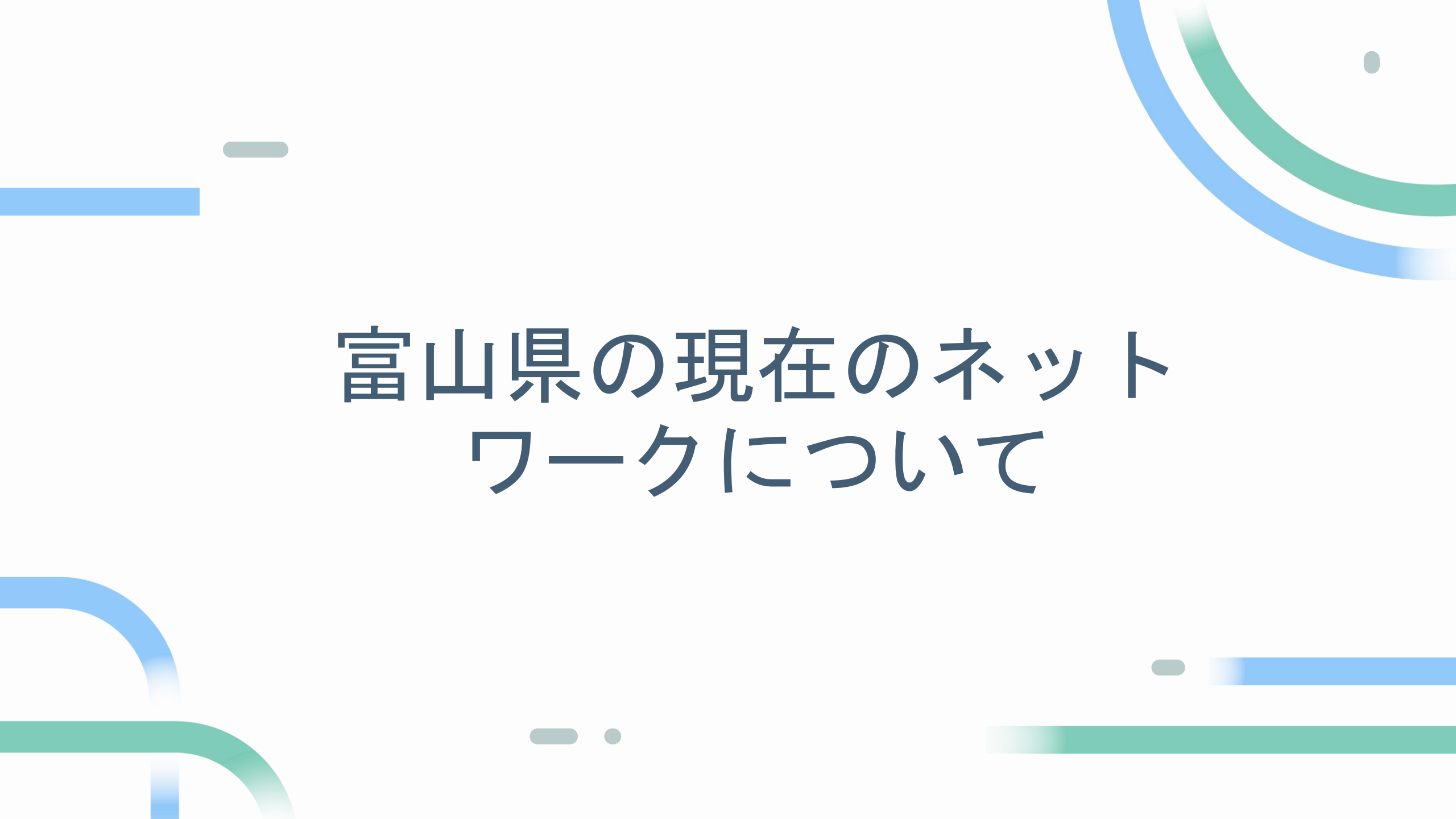
ネットワーク事務局

東北大学産科婦人科教室

迅速かつ円滑な治療導入
統合データの管理・共有
JOFR番号取得とデータ管理

医学が進歩し、がんや自己免疫疾患などの治療成績が向上しましたが、治療の副作用によって将来妊娠できる可能性(妊孕性)が計算されるのが問題となっています。
妊孕性温存目的に、がんや自己免疫疾患の治療前に配偶子(卵子・精子)や受精卵を凍結保存しておく方法があります。

(http://www.ob-gy.med.tohoku.ac.jp/miyagi-c_rt/index.html 2022/8/20閲覧)



富山県の現在のネット ワークについて

がん診療拠点病院等、小児がん拠点病院等の機能要件における がん・生殖医療ネットワークの位置づけ

がん診療連携拠点病院等の整備に関する指針

「がん診療連携拠点病院等の整備について」（厚生労働省健康局長通知）（令和4年8月1日）別紙より抜粋

II 地域がん診療連携拠点病院の指定要件について

2 診療体制

(1) 診療機能

⑥ それぞれの特性に応じた診療等の提供体制

・・・

ウ 各地域のがん・生殖医療ネットワークに加入し、「小児・AYA世代のがん患者等の妊孕性温存療法研究促進事業」へ参画するとともに、対象となりうる患者や家族には必ず治療開始前に情報提供すること。患者の希望を確認するとともに、がん治療を行う診療科が中心となって、院内または地域の生殖医療に関する診療科とともに、妊孕性温存療法及びがん治療後の生殖補助医療に関する情報提供及び意思決定支援を行う体制を整備すること。自施設において、がん・生殖医療に関する意思決定支援を行うことができる診療従事者の配置・育成に努めること。

エ 就学、就労、妊孕性（注11）の温存、アピアランスケア（注12）等に関する状況や本人の希望についても確認し、自施設もしくは連携施設のがん相談支援センターで対応できる体制を整備すること。また、それらの相談に応じる多職種からなるAYA世代支援チームを設置することが望ましい。

・・・

小児がん拠点病院等の整備に関する指針

「小児がん拠点病院等の整備について」（厚生労働省健康局長通知）（令和4年8月1日）別紙より抜粋

II 拠点病院の指定要件について

1 診療体制

(1) 診療機能

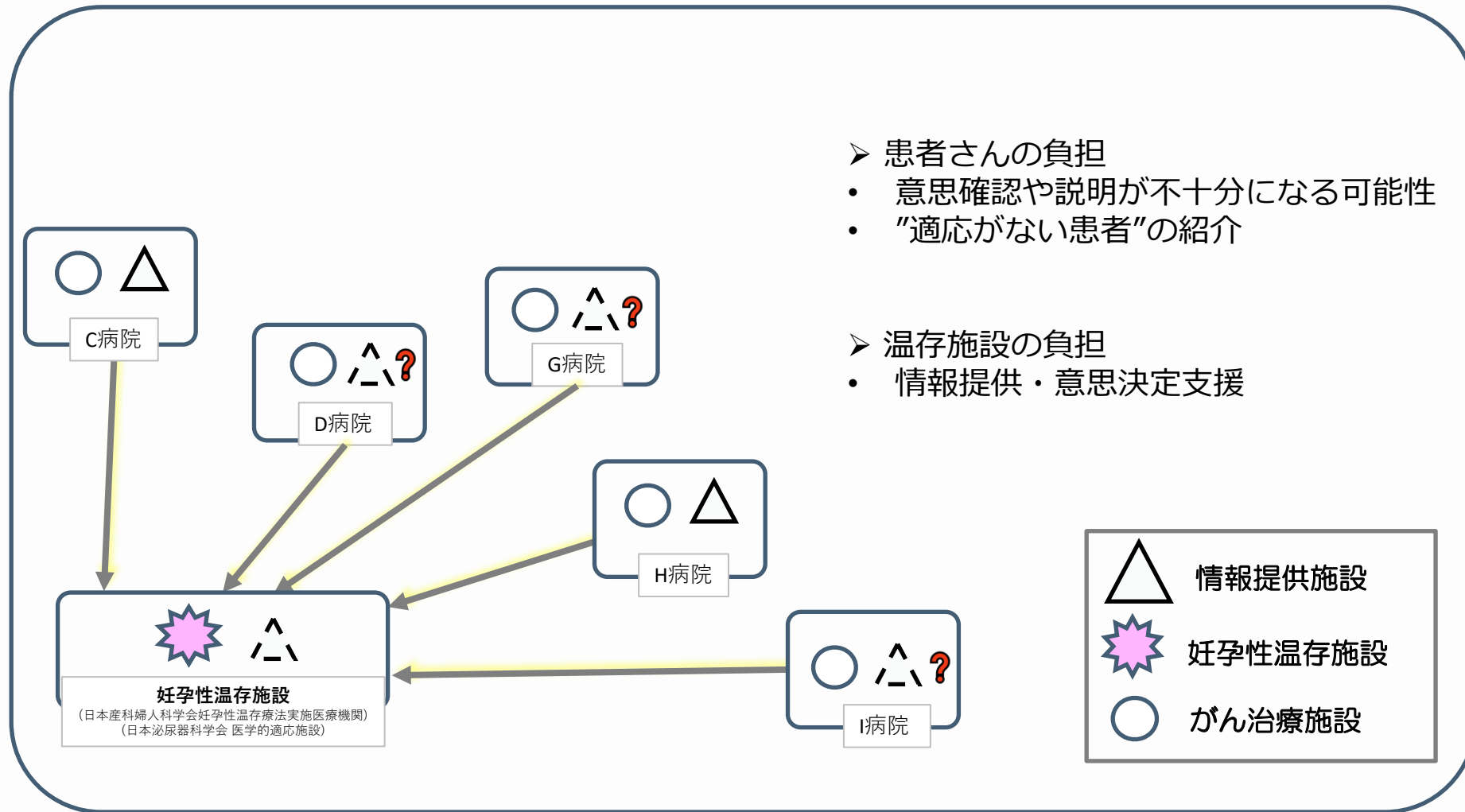
① 集学的治療の提供体制及び標準的治療等の提供

・・・

カ 地域のがん・生殖医療ネットワークに加入し、「小児・AYA世代のがん患者等の妊孕性温存療法研究促進事業」へ参画すること。対象となりうる患者及び家族には必ずがん治療開始前に適切な情報提供を行い、患者等の希望も踏まえた妊孕性（注5）温存療法及びがん治療後の生殖補助医療に関する情報提供・意思決定支援を行う体制を整備していること。また、自施設において、がん・生殖医療に関する意思決定支援を行うことができる診療従事者の配置・育成に努めること。

・・・

混合型



1. 部会名	小児・AYA 世代妊孕性温存部会	2. 部会長病院(部会長)	
3. 部会メンバー			
4. 開催実績			
回	開催日・場所	出席者数	協議の概要
第一回	令和5年7月28日(金)	23名	1. 富山県における妊孕性温存療法の助成事業について 2. 令和5年度小児・AYA 世代妊孕性温存部会の活動 3. アンケートの実施について
第二回	令和6年3月1日(金)	名	1. 令和5年度小児・AYA 世代妊孕性温存部会の活動報告 2. 令和6年度小児・AYA 世代妊孕性温存部会の活動予定
5. 活動成果			
【富山県がん・生殖医療ネットワーク推進研修会について】			
2024年1月12日に令和5年度富山県がん生殖医療ネットワーク推進研修会/富山県がん診療連携協議会小児 AYA 世代妊孕性温存部会検討会を行った。参加者は64人で昨年度(第1回33人、第2回33人)よりも多くの医療関係者が参加した。アンケート結果を添付します(添付1)			
6. 今後の課題			
【富山県がん・生殖医療ネットワーク推進研修会について】			
医師・看護師以外の参加者は、研修医(3人)、栄養士、放射線技師、学生、行政・病院のがん相談センター相談員、県健康課職員と幅広い職種に参加があった。今回も大学所属以外の産婦人科以外の診療科医師の参加は2人(血液内科1人、腫瘍内科1人。前回は0)と依然少なかった。医師以外の職種に本事業を広めていくことが有用である可能性があり、引き続き部会のメンバーには施設内の全職種に対し			

令和5年度

講演会(ハイブリッド)

富山県小児AYA部会検討会/

富山県がん生殖医療ネットワーク推進研修会



どなたでもご参加いただけます。お気軽にご参加ください。

1. 症例検討

症例1: 乳がん 32歳 女性(厚生連高岡病院)

症例2: 急性白血病 17歳 男性(富山赤十字病院)

2. 講演

【演題】小児がん経験者がおとなになるために医療者ができる支援とは
: 学業支援、就業支援から妊孕能保存まで妊孕性温存の意思決定支援プロセス

【講師】富山大学 小児科学講座 教授 今井千速 先生

プログラム

日時: 2024年1月12日(金) 18:00~19:30

会場: 富山大学 杉谷キャンパス

共同利用研究棟6階 会議室



《お申込方法》

こちらのURL↓

<https://bit.ly/3G2BKHR>

または下記のQRコードよりお申込みください。↓↓↓



《オンライン開催について》

当研修会はZoomにてハイブリッド開催いたします(定員100名)。お申込みの方に後日オンライン参加情報を送付いたします。

- 以下に該当する事項は、固くお断りします。
 - ・研修会の録画、録音、撮影(ただし事務局は記録及び運営の安全管理のため録画いたします)
 - ・資料の2次利用
 - ・チャットでの誹謗中傷
 - ・研修会の詳細内容のSNSへの投稿
- コンテンツに関する著作権は、主催者、その他の著作権者に帰属します。
- 参加者の端末(PC、スマートフォン等)環境やインターネット通信状況によっては、本研修会にご参加いただけない場合や、接続が不安定(映像や音声の乱れや遅延等)になる場合がございます。あらかじめ視聴環境をご確認ください。

主催: 富山大学附属病院 小児・AYA世代・妊孕性センター センター長: 中島彰俊 お問い合わせ先: 076-434-7357
共催: 富山県 次世代北信がんプロ

今後の課題

【ネットワークの母体を「部会」にしたことについて】

- 通常 他の部会では、部会長病院を毎年各病院が交代で担い運営していくが、本部会では現状大学が部会長病院として毎回研修会・検討会の企画・運営をしている。
- 研究班の考え方では「事務の庶務等を担う事務局」が設置されていることが示されている。

【ネットワークの構成員】

- 相談支援担当者の代表、患者(ないし患者家族)の代表が参加する
- 温存施設にも入っていただかないといけない(現在は未参加)

【検討会の実施について】

- 部会という枠組みの他にどのように行っていくのか。

【ネットワーク全体として】

- 地域での妊孕性温存実施件数(概数)の把握 (新規がん罹患数に対する温存の割合. 2019年度新規小児AYA世代がん罹患：180名, 2022年度妊孕性温存実施件数：9名)
- 各拠点病院・県民への普及
- 助成金を使わずに温存するケースも存在

ご清聴いただき、 ありがとうございました

本発表の機会を与えて下さった
香川大学医学部周産期学婦人科学教授 金西賢治先生
香川県がん・生殖医療ネットワーク関係者
OCJpn関係者

の皆様にご感謝申し上げます。

CREDITS: This presentation template was created by [Slidesgo](#), and includes icons by [Flaticon](#) and infographics & images by [Freepik](#)